

令和7年度 障害者差別解消に関する周知啓発の取組について

1. 事業者や市民を対象とした啓発

(1) パンフレットの作成・配布

①障害を理由とする差別の解消に関するパンフレット

平成 28 年度に作成した「障害を理由とする差別の解消に関するパンフレット」を増刷し、関係機関やイベント等で配布することで、障害者差別解消に関する周知啓発を行う。

また、パンフレットを紹介するホームページを修正し、パンフレットの内容や相談先について掲載したほか、SNS においても年4回程度（6月、9月、12月、2月（予定））、定期的に周知を行った。



令和7年度配布内訳（12月末時点）	区分	配布先	配布部数
	医療機関等	4 医師会所属医療機関	812 部
		歯科医師会所属医療機関	610 部
		医師会・歯科医師会に所属していない医療機関	442 部
		薬剤師会所属薬局	370 部
	企業等	飲食店（浦和区・南区・緑区・桜区・中央区エリア）	1,124 部
		理美容店	2,683 部
		公衆浴場施設	106 部
	研修	出前講座（学研スマイルハートフル）	29 部
		公民館が実施する人権・同和の理解を図る講座	1,000 部
		大谷口小学校主催研修での配布	160 部
	イベント	手話応援	500 部
		「障害者週間」市民のつどい	2,200 部
		岩槻区内図書館「障害者週間」啓発コーナー展示	30 部
		合計	10,066 部

②合理的配慮提供促進事業

ノーマライゼーション条例に基づき、事業者が合理的配慮の提供を容易に行うことができるようにすることを目的に、事業者が行う合理的配慮の提供に要する費用の一部に対し、補助金を交付する事業を令和元年度から開始している。

今年度は、より多くの方に活用いただけるよう、以下のとおり周知を行うとともに、SNSにおいて周知を行った。

令和7年度 周知内訳 (12月末 時点)	区分	チラシ配布先	チラシ配布部数
	医療機関等	4 医師会所属医療機関	812 部
		歯科医師会所属医療機関	610 部
		医師会・歯科医師会に所属していない 医療機関	442 部
		薬剤師会所属薬局	370 部
		薬剤師会非加入薬局	176 部
	企業等	飲食店（浦和区・南区・緑区・桜区・ 中央区エリア）	3,529 部
		理容室・美容院	2,683 部
		公衆浴場施設	106 部
	合計		8,728 部

令和7年度 合理的配慮提供促進事業補助実績（令和7年12月末時点）
0件

出前講座実施状況

実施日	実施場所	参加人数
令和7年10月31日	学研スマイルハートフル	29人
令和7年11月28日	東京IT 会計公務員専門学校大宮校	20人
令和7年12月1日	埼玉県理美容生活衛生同業組合浦和支部	30人
【アンケート結果（抜粋）】 <ul style="list-style-type: none"> ・支援員にとってもいつも心にとめておかなくてはならない事がたくさん盛り込まれていて、改めて支援を考える良い機会になりました。 ・利用者の方には内容が難しいと感じました。理解が難しい人にも分かりやすい伝え方があると良いと思いました。 ・障害者の友達との関わりで少し不安もありますが、今日学んだことを大切に頑張りたいです。 ・本日は有難うございました。大変参考になりました。社内で共有していきます。 		

(2) 障害者等講師派遣事業

令和7年6月に「さいたま市障害者等講師派遣事業実施要綱」を施行。障害者に対する理解を深めることを目的として、障害当事者を講師として市民等の集会・会合等への派遣を実施した。

【参考】令和7年度実績

- 6月14日 大宮区防災アドバイザー連絡会
- 6月28日 大宮区避難所運営訓練
- 11月25日 防災アドバイザーフォローアップ研修
- 11月26日 障害者週間市民のつどいボランティア説明会
- 11月28日 出前講座
- 12月 1日 出前講座
- 12月19日 岩槻区諏訪2丁目自治会

(3) イベントにおける周知

①大宮アルディージャ手話応援

ノーマライゼーションの普及を目的として、障害のある人もない人も一緒にRB大宮アルディージャを手話で応援する「RB大宮アルディージャ手話応援デー」において啓発活動を実施。

日 程	令和7年8月23日（土）
会 場	NACK5スタジアム大宮
来場者数	1,500 人
内 容	「障害を理由とする差別の解消に関するパンフレット」を配布したほか、試合前の市長挨拶において、ノーマライゼーション条例の周知を実施。
開催までの流れ	毎日興行株式会社が事務局となり、手話応援実行委員会を組織し、この実行委員会が主催で、3、4回事前会議を行い、当日に向けた企画や調整を行っている。当課は、後援という形で参加している。

②「障害者週間」市民のつどい

障害者への理解と関心を深めていただくとともに、障害者の社会参加の促進を図ることを目的に開催している、「障害者週間」市民のつどいにおいて、啓発活動を実施。

日 程	令和7年12月6日（土）
会 場	プラザノース、市民広場、きたまちしましま公園
来場者数	3,171 名（令和6年度：2,494 名）
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・高嶋弘之氏による基調講演 ・障害者団体によるブース展示 ・ダンスや演奏などのステージ発表 ・障害・難病者制作品展

	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者団体や施設による販売コーナー ・障害者スポーツの体験ブースを実施。
開催までの流れ	さいたま市障害者協議会に企画部分を委託している事業で、障害者協議会に加盟している団体から実行委員を選出、令和7年度は5回実行委員会を実施（書面開催を含む）し、当日の企画内容や人員配置等を行っている。

③さいたま市ノーマライゼーションカップ

ノーマライゼーション条例とその理念を市民に周知啓発するために平成24年度から実施しているイベント。今年度は、女子日本代表チーム対女子オーストラリア代表チームによる試合を開催する予定。

日 程	令和8年2月21日（土）
会 場	サイデン化学アリーナさいたま（記念総合体育館）
内 容	女子日本代表チーム対女子オーストラリア代表チームの試合を実施するほか、ブラインドサッカー、アーチェリー、ボッチャ、サウンドテーブルテニス等の体験ブースを設置予定。
開催までの流れ	日本ブラインドサッカー協会へ委託している事業で、日本ブラインドサッカー担当者と市の担当者と内容を協議しながら、当日の企画を検討している。

（４）研修の実施

障害福祉サービス事業所を対象とした研修の実施①

市内障害福祉サービス事業所を対象とした、集団指導に合わせ、障害者差別に関する研修を実施。障害者差別解消法について説明するとともに、厚労省の福祉事業者向けガイドラインを引用し、事業者求められる合理的配慮等について研修を実施した。

実施方法	ホームページへの掲載
全体受講者	市内障害福祉サービス事業所
内 容	障害者差別解消法について
アンケート結果	「研修の理解度」100%（回答数 166 件） 「研修の役立ち度」100%（回答数 166 件）
開催までの流れ	監査指導課が実施している、指定障害福祉サービス事業所等集団指導。 令和5年度までは会場での講義型で実施しており、当課も1コマ講師として参加していたが、令和6年度よりホームページへの資料掲載へと変更となった。 そのため、当課の内容については、その他関連項目として、ホームページを作成し、リンクを監査指導課のホームページに掲載してもらっている。

障害福祉サービス事業所を対象とした研修の実施②

さいたま市内の障害福祉サービス事業所職員に対する講義やグループワークを通じて、障害者差別解消、障害者虐待防止及び権利擁護に関する知識の習得を図ることを目的に、令和6年度より研修を実施している。

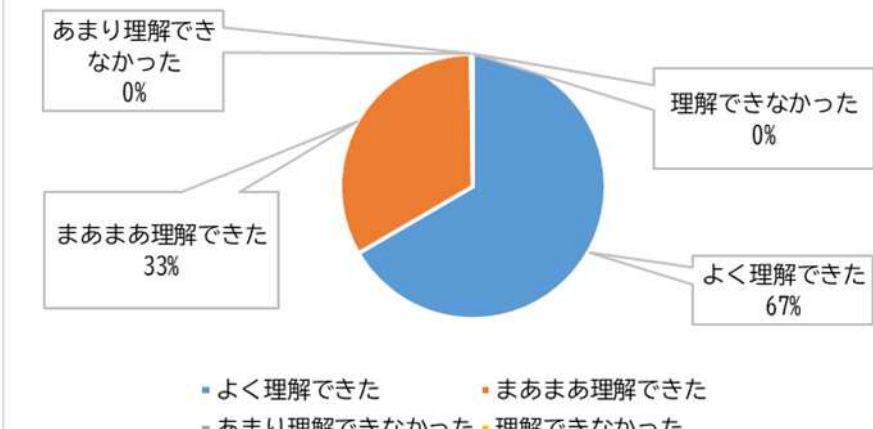
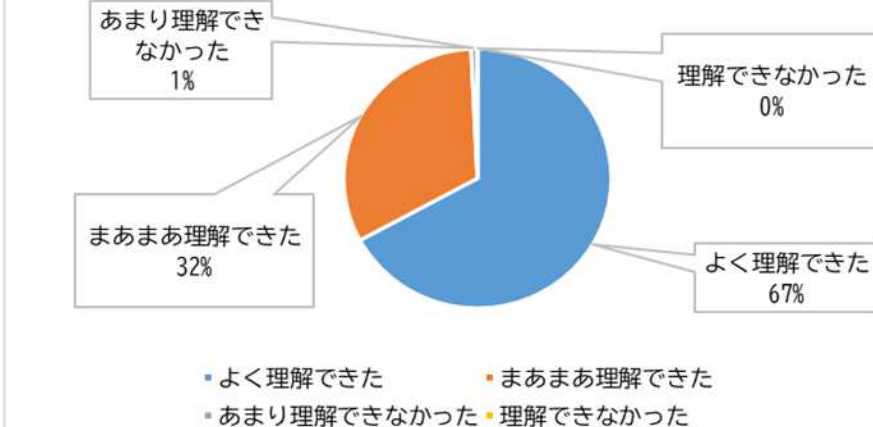
日程	令和7年12月11日（木）午前10時～午後4時30分 令和7年12月15日（月）午前10時～午後4時30分
会場	与野本町コミュニティセンター
実施方法	講義・グループワーク形式
全体受講者	障害福祉サービス事業所等の施設長、管理者、虐待防止等のための責任者
内 容	障害者差別解消、障害者虐待等についてのスポット講義 テーマごとのロールプレイ
参加定員	85名（各法人1名まで）
開催までの流れ	監査指導課で実施している集団指導を虐待・差別の研修の場としていたが、資料掲載となったことに伴い、昨年度から障害者差別と虐待に関する内容の研修を別途、障害福祉課企画管理係と新たにグループワーク形式で実施した。講師やファシリテーターについては、埼玉県と同研修で幹事となっている方々に依頼している。

2. 市職員を対象とした啓発

①「障害を理由とする差別の解消に関する職員研修」の実施

さいたま市職員として、障害を理由とする差別の解消を推進するために必要な知識を習得することを目的に実施。

日 程	令和7年11月12日（水）										
受講者	市職員 404名										
内 容	障害のある方への対応の基本について 差別禁止と合理的配慮～ソウゾウしてみよう障害のある日常のこと、災害時のこと 聴覚障害者の生活										
アンケート集計結果	<p>【講義の理解度】</p> <p>「障害のある方に対する対応の基本について」の講義の内容は理解できましたか。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>理解度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>よく理解できた</td> <td>69%</td> </tr> <tr> <td>まあまあ理解できた</td> <td>31%</td> </tr> <tr> <td>あまり理解できなかった</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>理解できなかった</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ よく理解できた ■ まあまあ理解できた ■ あまり理解できなかった ■ 理解できなかった</p>	理解度	割合	よく理解できた	69%	まあまあ理解できた	31%	あまり理解できなかった	0%	理解できなかった	0%
理解度	割合										
よく理解できた	69%										
まあまあ理解できた	31%										
あまり理解できなかった	0%										
理解できなかった	0%										

	<p>「差別禁止と合理的配慮」の講義の内容は理解できましたか。</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>理解度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>よく理解できた</td> <td>67%</td> </tr> <tr> <td>まあまあ理解できた</td> <td>33%</td> </tr> <tr> <td>あまり理解できなかった</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>理解できなかった</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	理解度	割合	よく理解できた	67%	まあまあ理解できた	33%	あまり理解できなかった	0%	理解できなかった	0%
理解度	割合										
よく理解できた	67%										
まあまあ理解できた	33%										
あまり理解できなかった	0%										
理解できなかった	0%										
	<p>「聴覚障害者の生活」の講義の内容は理解できましたか。</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>理解度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>よく理解できた</td> <td>67%</td> </tr> <tr> <td>まあまあ理解できた</td> <td>32%</td> </tr> <tr> <td>あまり理解できなかった</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>理解できなかった</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	理解度	割合	よく理解できた	67%	まあまあ理解できた	32%	あまり理解できなかった	1%	理解できなかった	0%
理解度	割合										
よく理解できた	67%										
まあまあ理解できた	32%										
あまり理解できなかった	1%										
理解できなかった	0%										
アンケート集計結果	<p>【自由記載欄（抜粋）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害のある方への対応は難しいと感じています。このような研修があると助かるので続けてほしい。 ・ 実際に当事者の方の話を聞くことができ、困り事やどんな配慮が必要かをより知ることができました。 ・ 障害のある方と関わる場面が生じたときに、どのように対応し、接するべきかを考えていく必要があると今回の研修を通じて気づきました。 ・ 相手の希望通りの対応をすることができない場合でも、できる代替案を示し、寄り添う姿勢が大切であると改めて学びました。 										
開催までの流れ	<p>幅広く障害について職員に知ってもらうことを目的に、数か年のサイクルで様々な障害種別の方に順繰りをお願いし、その障害の特性や配慮事項等についてお話いただいている。</p> <p>当事者や家族以外の講師については、時事的なものも考慮しつつ、大学教授等の有識者へアプローチし、お引き受けいただいている。</p>										

②「ノーマライゼーション推進市職員研修」の実施

市の幹部職員が、障害についての理解を深め、ノーマライゼーション社会の実現に向けて取り組む姿勢を市民に示すことを目的として研修を実施。

日 程	令和7年11月4日（火）
会 場	さいたま市役所消防庁舎危機管理センター 災害対策室
受講者	市長、副市長、各局区長等幹部職員 38 名
講 師	さいたま市聴覚障害者協会 会場 川津雅弘氏 外
内 容	講演「聴覚障害者の生活」 手話研修（あいさつ、名前の表現など）
開催までの 流れ	障害種別ごとに数か年サイクルでお声がけをし、講義と体験を実施している。